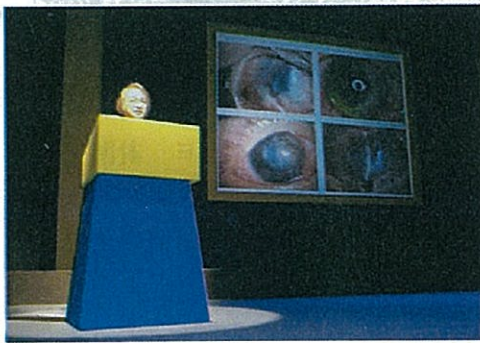


The Doyne Memorial Lecture を授賞して

木下 茂

2011年の Oxford Ophthalmological Congress が7月4日と5日の2日間にわたって Oxford 市内の中心に位置する伝統ある The Randolph Hotel で開催された。この Oxford Ophthalmological Congress は1909年に Robert Doyne によって設立された英国で最も伝統ある眼科の学会である。Mr. Doyne は19世紀後半から20世紀前半にかけて活躍した、そして英国の眼科学会創立に大きく寄与した優れた眼科医であり、Oxford 大学教授でもあった。この学会は、伝統を重んじること、専門分野の異なる著名な教授も参加すること、聴衆が1つの講演会場に集まること、

公式ディナーはタキシードで出席すること、などを特徴としている。Oxford 大学の教育システムが、歴史を重んじる一方で、異分野交流を積極的に推進しているのと有る意味で共通した考え方である。今回、私は、この学会の特別講演者として2011年の The Doyne Memorial Lecture をさせていただいた。講演内容は、教室の皆さんに支えられて行っている角膜疾患の治療である。過去の The Doyne Memorial Lecture 授賞者を見ても日本を含めたアジア地域の眼科医は皆無であり、大変に名誉な賞をいただいたことに感謝している。



Doyne Memorial Lecture の風景



John Dart 会長夫妻と Black Tie でディナー



Doyne Memorial Lecture の風景